

Q 実際の使い方を知りたい!

茨城県・A先生(国語)の使い方

授業・宿題の両方で使っています。授業では写真資料を使うことが多い。ワークの問題を口頭で質問して答えさせることもあります。語句・漢字は新しい教材に入る際に予習として指示し、その他の問題は復習として授業ごとに指示します。定期テスト前に提出させて点検し、定期テストにワークの問題を出題していますので、生徒はきちんと取り組んでいます。



熊本県・B先生(社会)の使い方

ワークブックを生徒の自学自習の軸にしています。授業の範囲もワークブックのページで指示し、まず授業用のノートにワークブックの問題の答えを書き込ませ、ワークブック用のノートに2回目、ワークブック本誌に3回目と3回問題を解かせるようにしています。授業で時間が余ったとき、普段の宿題、定期テスト前の自習や宿題など多様な使い方で活用しています。



滋賀県・C先生(数学)の使い方

基本的には宿題にしていますが、授業で教科書の問題に取り組みせる際、早く終わった生徒にはワークブックの問題に取り組むよう指示しています。解説・解答をいっしょに渡しておき、わからなかったらそれを見て取り組むよう指示しています。点検をこまめにして、途中式をきちんと書いているかどうかを確認し、できていない生徒には声掛けをしています。



千葉県・D先生(理科)の使い方

授業で実験・観察を行った後に、宿題として使用しています。カラーの写真や図版がたくさん使われていて、実験の追体験をしながら重要事項の確認ができると思っています。定期テスト前には、授業の中で時間をとって単元末のまとめ問題を練習として解かせます。机間巡視をして、難しい問題の解説をしています。



東京都・E先生(英語)の使い方

授業の中で、ワークの基本問題のイラストを使って基本文の口頭練習をさせています。その授業の最後にワークの問題に取り組ませることで、「話す」と「書く」を結び付けられるようにしています。そのほかの練習問題は、とくに重要な問題や間違えやすい問題を取り上げて授業で取り組ませて解説し、残りは宿題にしています。



ワークブックその他の教材について
お知りになりたいことがありましたら、
教材販売店までお気軽に
お問い合わせください!

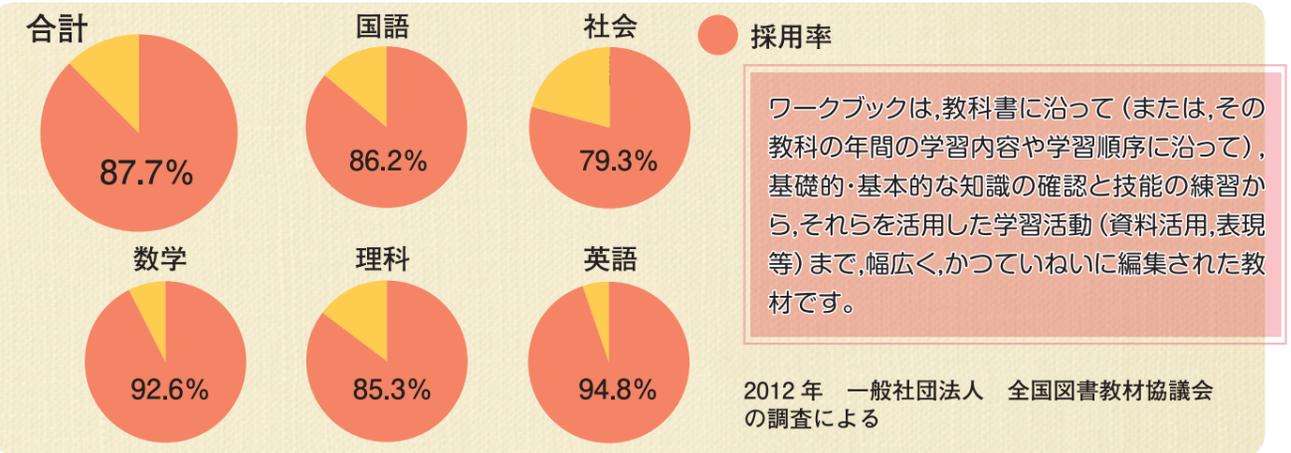
ワークブックを ご活用ください!

生徒の
可能性を引き出す
楽しい学びに

一般社団法人 日本図書教材協会
一般社団法人 全国図書教材協議会

Q ワークブックとはどんな教材?

全国で約90%の先生方が採用している、指導に欠かせない教材です!



Q なぜ、ワークブックはそんなに多くの先生が使っているの?

① 「年間1冊」のわかりやすさと達成感があるから

ワークブックは1年間の学習内容を1冊にまとめたものです。「この1冊を仕上げればいいんだ」というわかりやすさと、1冊やり遂げる達成感が、生徒の学習意欲の向上に役立ちます。



② ワーク1冊あれば、授業・家庭学習など、あらゆる場面で活用できるから

ワークブックの多くは、小単元に対応したページに加え、単元ごと、学期ごと、学年末などの区切りに対応した復習ページや、生徒共通の弱点に対応した特集ページが随所に設けられており、学習の場面に応じたさまざまな使い方が可能です。



ワークブックをご活用ください!

③ 豊富な写真や図版、イラストで楽しく効果的な学習ができるから



多くのワークブックはカラー印刷で、写真や図版、イラストが豊富に掲載されています。生徒の興味を引き付け、内容の理解をより深めるのに役立ちます。

もちろん、シンプルに問題に取り組みたいというご要望にお応えする、1色または2色のワークブックも発行されています。

さらに、こんな特徴も!

ワークブックには手作りのプリント教材では実現しにくいことが満載!
だから多くの先生に採用され続けているのです!

④ 標準的な問題内容で、もれなく・かたよりになく、使いやすく!

ワークブックは、学校教材専門の出版社が編集・制作し、全国の学校専門の販売店を通して提供しています。学校の実情に詳しく先生方の身近にいる業者が、学習指導要領や教科書の研究を土台に、全国の学校の情報を集めて編集していますので、もれなく・かたよりになく、しかも学校でいちばん使いやすい教材を提供しています。

⑤ 独自の調査・分析で適切さを確保

ワークブックを発行している出版社の多くが加盟している日本図書教材協会では、検定制度のない教材に対する「学校教材調査会」を設け、大学教授と現職の中学校教諭で構成される調査委員により、加盟出版社の教材の1ページ1ページ、1問1問の適否を分析してフィードバックし、次回の教材編集に活かす取り組みを行っています。

⑥ 1年間に必要な修得教材を安価で

ワークブックは1年間の学習の軸となる教材を、生徒一人あたり数百円で提供しています。



Q ワークブックの中身はどうなっているの?

一般的なワークブックの通常誌面は、下図のようになっています

このような誌面のページに加え、単元のまとめ問題、数単元のまとめ問題、弱点補強特集などがありますので、どんな先生の指導スタイルにもあわせて活用していただくことができます。

単元タイトル・ねらい (要点のまとめ)	標準的なレベルの練習問題
もっとも基礎的な知識や技能の問題	知識や技能を活用する問題

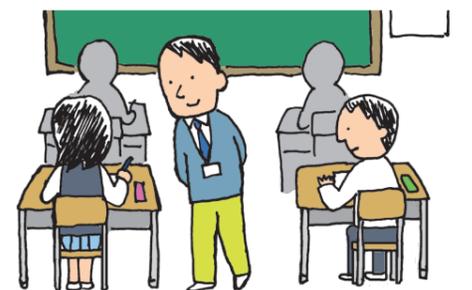
Q どんな場面でどんな使い方ができるの?

予習では…

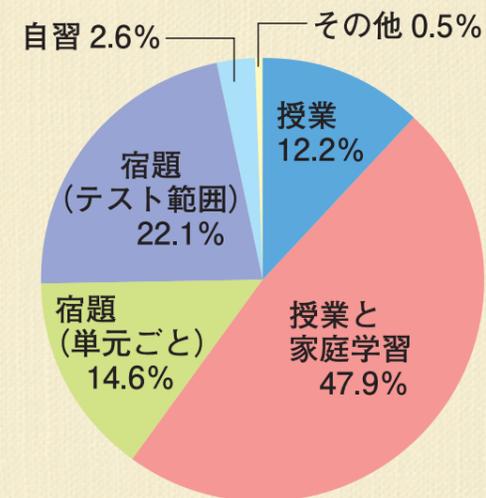
- ① 単元タイトルとねらいを読ませておく。
 - ② 単元の学習内容のまとめを読ませておく。
 - ③ 語句の意味調べを記入させておく(国語)。
- など

授業では…

- 全員が取り組める基本的な課題として**
- ① もっとも基礎的な知識や技能の問題に取り組ませる。
- 指導が必要な生徒に対する指導をしやすくするための課題として**
- ② 標準的なレベルの練習問題や知識や技能を活用する問題に取り組ませる。
- など



ワークブックの使用場面



2012年 一般社団法人 全国図書教材協会の調査による

復習では…

- ① 予習や授業で取り組んだ残りの部分を宿題として取り組ませる。
 - ② 単元末のまとめや定期テスト前の復習課題として取り組ませる。
- など